

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 _____

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	2		複数ある部屋で分 かれて活動	それに応じた職員配置を行う
	2	職員の配置数は適切である	3	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	0	6			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6				情報を元にもっとサイクルの円滑化を行いた
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6				ホームページにて掲載
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	5	1			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	6				
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	5	1		MTGでふりかえり を行いながら立案 している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	2		曜日別で活動を固 定し、その内容が かぶらないようにし ている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	5	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6			業務開始時に流れ や活動内容の打ち 合わせをおこなっ ている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	3			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	5	1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	6					

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1		毎月外部講師による研修を保護者さんにも案内している	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に一緒に確認をおこなっている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			見送り時の会話の量を増やし相談しやすい環境づくり	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				ほけんだよりで案内をかけたりしている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				定期的な研修を開催している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2			聞き取りにて行っている。必要な対応があれば指示書の記入も行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				全事業所のヒヤリハットがみられるしている。必要に応じて事例検討会をし、事業所のマニュアルに組み込む

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドサポートなは 保護者等数(児童数) 3名 回収数 3 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2		1		
適切な支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	3				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	2	1			
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1			
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3				
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3				
	14 個人情報に十分注意しているか	3				
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2	1			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3				
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	3				
	18 事業所の支援に満足しているか	3				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 _____ 保護者等数(児童数) 14 回収数 14 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	10	2		2	午後は人数も増えて大変そうに見える	1階と2階に分かれて活動する事で安全なスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	10	3		1	保護者との信頼関係が築かれていない為、新しい職員のマンツーマンは不安。しばらくは2対1で見守る事は出来ないのか？専門性はわかる方と分からない方がいます	新入社員に関しては担当指導員を配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	13			1	子どもの事をよく見ていて課題が適格だと思った。安心して預けられる。	ありがとうございます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13			1	把握が出来ていない	個別支援計画書の内容に記載されています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	1		2	個別支援計画が具体的ではない	個別支援計画書作成後、直接ご説明します。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	11	1		2		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	2	8	計画してほしいコロナ禍で厳しいのかなと思う降園後の交流？	今後計画していきます。
適切な 支援の	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	13			1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	13			1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	12	1		1	参加させて頂き、貴重な時間をいただいています	ありがとうございます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	1			連絡帳を復活してほしい。デイの様子や関わりの反応を細かく教えていただくので大切な情報になっています。これか	保護者さまが必要としている情報を送迎時などを利用し伝えていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	10	1		2		
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	7	1	2	3	通所したばかりなのでまだ分かりません。	親子レクなどを今後予定しています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
提供	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	12	1		1	現在、親子で通所させて頂いているので都度相談させて頂いてアドバイスももらっています。母子分離になるとどれくらいお伝えできるか少し不安です	送迎時を利用して、しっかり伝えていきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12	2				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	11			3	11月からなのでまだ自己評価の結果等頂いていない。ホームページは細かくチェックしております。ブログも楽しみ。	ホームページで公開しますのでご参照ください。ブログアップ楽しみにしててください。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	13			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	6			8		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5	1		8		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	13	1			「じゃーねー」と私に手を振ってバイバイして本人にとって安心して過ごせる場所だと思う。ぐずりがちです。もともと楽しく過ごせていたので安心できる場所になればと思う。最近「チャイルドサポート」という名前を覚えています。とても！早く長期休みになってチャイルドでお弁当食べたいと言っています	子ども達が安心して楽しく過ごせる環境づくりを今後も継続していきます。
	23	事業所の支援に満足している	13	1				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 チャイルドサポートなは

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	2階の有効活用検討	運動室などがつかわれていない。児童と放デイの部屋を分けている。
	2	職員の配置数は適切である	3	3		職員の入れ替わりが多く人数も足りない 保育士が少ない
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2		収納がこたえられているともっと整理しやすいと思う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		ケガや事故防止に向け活動の場所は障害物をなるべく置かない。マットを敷いている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		経営方針の施策のもと目標を設定し毎月振り返りをおこなって	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		お茶の水研修動画、月一回外部講師による研修を実施	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		今後、標準化されたアセスメントツールの導入を検討
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			ある程度固定にすることも必要と考える

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		朝礼時に児童の申し送りをしている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3	次の日の朝礼でMTGを行い共有している。MTGノートを活用している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2	医療的ケア児に対しては主治医指示書を依頼している	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	今後交流を検討	コロナ禍で行えていない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		毎月一回ペアトレ、保護者相談会を実施	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に書面と口頭で説明	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		クリスマス会、発表会等のイベント時に保護者交流会を検討
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		月一回活動計画を配布	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		契約時に同意書をいただいている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		送迎時に児童の様子を伝え保護者との会話を必ずする	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		マニュアルはあるが保護者には周知していない為、会報等を発行する	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		契約時にお薬説明書や母子手帳から予防接種状況のコピーをいただいている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	契約時に保護者に確認	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ツールを用いて全事業所に共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		全体会議や外部講師による研修会、検討会を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		事業所内にも掲示している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。